

令和6年 11 月6日(水)

グループワーク記入用紙

3グループ

①各自の気になった項目・キーワード

◇無関心な人への働きかけ、これが一番難しい。

・運動などに参加することで、地域とつながりも出来てくる。ラジオ体操などで、小さい子などもまき込んでいくことで、今後につながってくる。

・地域の体操に来るメンバーも固定化している。息子や娘など、孫世代も参加を促すことができると多世代交流にもつながる。

・スマホ講座などで、高齢者と若者が関わることは高齢者も嬉しいはず。そのような機会があるとよい。

・高齢クラブは色々な趣味で集まっている。社会奉仕という意味合いもある。地域の清掃活動もしている。ただし、入会者も減っている。入会者を増やすためには楽しいことを前面に出して誘うことになる。

→ボランティアも遊びだと参加者が増えるが、仕事として要求するとあまり参加しない傾向にある。生きがいづくりとして割り切ってしまうのもよいと思う。

◇男性の人が持っている才能を活かす方法があるとよい。委員長は男性が多い。主人公になれるような役割があれば参加につながりやすい。

・男性は企業にずっと勤めていたため、今更新たな輪には入れない。

・妻が男性も引っ張ってくれるようになれば、男性は参加しやすいかも。(ex、男性が必要な役割を担ってもらう)

・万博について話し合いませんか?という企画をしてみるのも面白いかもしれない。

吹田市は万博を開催したことがある都市であるため、当日の状況について話をしてもらったり、思い出について語りあう機会があると、男性の方でも参加につながりやすいかもしれない。自らの経験を話すのであれば、男性も語りたい方も多いのではないと思う。

⇒このようなイベントが活性化することで、2025 年の万博も活性化すれば良い。

・高齢クラブの会員は女性が多い。女性は仲間意識が強い気がする。→一人が参加につながれば、芋づる式に多くの方に参加してもらいやすい。

・ボランティアも7・8割が女性。ただし、高齢者大学出身の方は男性が多い気がする。

・近隣の方を活動参加に誘っても、そもそもの関係性がないため、参加につながらない。

・自治会などが主体にやってもらうと参加者が増えてくるかもしれないが・・・。

・マンションができた当時から、そのような意識づけをしておかないと広がりにくい。

・地域活動に興味はあるけど、参加につながらない方も多い。

・まずは全く関心がない人ではなく、グレーな人(関心はあるけれど参加していない方)が参加してもらいやすいようになるとよいが、時間がかかると思う。

◇取り組めること

・マンション内で挨拶することからやっていくしかないと思う。